仙北組合総合病院 だより

発行月日　平成23年12月15日
発行責任者　後　藤　伸　一
No.12

基本理念
私たちは、安全で質の高い
患者様本位の医療を提供し
信頼される病院を目指します

基本方針
1. 常に医療の質の向上と安全な医療の推進に努め広く医療従事者の育成を行います。
2. 患者様の権利と意思を尊重し、十分な説明と同意に基づく医療を提供します。
3. 地域の医療・保健・福祉施設と緊密に連携し地域医療の充実に努めます。

ご　挨　拶

仙北組合総合病院
外　科　小　野　文　徳

平成14年4月から当院外科で勤務しております小野です。早いもので、当院に赴任してから9年半の月日が流れました。自分としてはそれほどの長い年月が経った感じはしないのですが、この期間における医学の進歩を振り返ると、外科が関わる分野に限って見ても大きな進歩を遂げており、やはりそれなりに時間は経過したことを実感させられます。

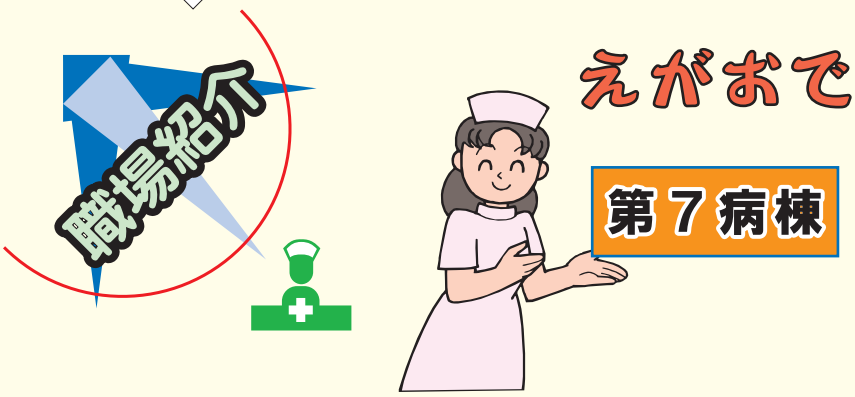
とくに大きく進歩した分野は、がん診療における化学療法（抗がん剤による治療など）でしょう。近年の化学療法の進歩は目覚しく、次々に新薬が作り出されその成績も向上しています。胃がん、大腸がん、乳がん、膵・胆道がんなどで、多くの患者様が化学療法を受けられ、その数は年々増加しています。外科での治療というと手術を想像される方も多いかと思いますが、当院外科においては化学療法が手術と同じくらい重みを持った診療内容となっています。手術だけではがんの治療成績を向上させるのが難しくなった現在、化学療法はますます重要性を増していくものと考えられます。ただ､化学療法の施行例数が増えたからといって手術件数が減少することはなく、私が赴任してからの9年間は、年間約500～550例くらいの手術件数で推移しています。手術に関しては、腹腔鏡というカメラを用いた、患者さんの体に負担の少ない手術が発達してきました。傷が小さいため、術後の痛みも少なく早期退院が可能といった利点があり、胆石症に対する胆嚢摘出術から普及し始めた腹腔鏡手術は、今や大腸がんや胃がんといったがん手術でも施行例が急増しております。当院でも胆嚢摘出術が腹腔鏡手術の中心でしたが、虫垂切除術や大腸切除術も腹腔鏡手術で施行するようになり、今後はさらに適応を拡げていく予定です。しかし、がんの手術はがんを安全、確実に切除することが大原則ですから、適応を吟味し、腹腔鏡手術と従来の開腹手術のメリット、デメリットをよく考え、それぞれの利点を生かしながら、患者様にとって最適な治療を行なっていきたいと考えております。

当院は臨床研修指定病院であるため、とくに外科には研修医をはじめとした若手医師が多く勤務していることも特徴です。彼らの研修を行いながらの診療で、患者様にはご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、一緒に若い医師を育てるつもりで温かい目で見守っていただけましたら幸いです。日々進歩し続ける医学にしっかりと対応し、地域の皆様方のニーズに応えられるよう外科スタッフ一同努力していきますので、今後ともよろしくお願いいたします。

患者様の権利

患者様の立場にたった医療を提供するため、以下の権利を尊重します。
1. 人格を尊重されて、丁寧で思いやりのある医療を受ける権利
2. 良質で安全な医療を公平に受ける権利
3. 医療の情報や説明を理解した上で、治療方針を自己決定できる権利
4. 診療に関する情報などのプライバシーを保護される権利
5. セカンドオピニオン（別の医師の意見）を求める権利

JA秋田厚生連
仙北組合総合病院
秋田県大仙市大曲通町1番30号
TEL 0187－63－2111
FAX 0187－63－5406
ホームページ
URL http://www.senbokukumiai-hp.gr.jp/
E-mail senbokuk@crocus.ocn.ne.jp



えがおで頑張っています

皆さんこんにちは。私たちは７病棟＝旧館７階といわれている病棟で働いています。

７病棟は混合病棟であり、脳外科（急性期を脱した方）、消化器、一般内科、循環器の患者様が入院している病棟ですが、時には呼吸器外科、泌尿器科などの患者様も入院されます。

病床数40床ですが、個室が他病棟より少し多いので感染症疑いのある患者様の入退院もあります。これからの季節ではインフルエンザ、ノロウイルス患者様の入退院も多くなってきます。

看護師19名、看護補助者２名のスタッフはいつも明るく、元気に、そしてえがおをモットーに患者様のお世話をさせていただいております。看護室ではワンテーブルで全スタッフが記録記載しており、更に師長の机も近くにあり情報を速やかにキャッチできています。また各科の先生とのコミュニケーションを蜜にする事も重要です。

私達は部署目標を「継続医療が充実できる」と掲げ、退院支援に関する研修出席や退院指導パンフレットを作成し活用するなど様々な取り組みをしています。また担当看護師として患者様が地域に安心して戻っていただくために入院から退院まで責任を持って関わりを持つために退院支援プログラムを入院24時間以内に記載し、お互いが情報を共有できる職場環境を作っています。

また入退院がスムーズに出来るためにも、ケースワーカーの方達との連携は必須であり、助言いただくことも多々あり、助けられております。

看護室からはペアーレ周辺が、病室からは松山・嶽山・雄物川河川敷が見渡せ多忙な業務の中四季を感じることが出来、ほっと一呼吸できる瞬間でもあり、患者様との会話も弾みます。

これからも「元気で明るくえがお」を心がけ看護していきます。皆さん７病棟を宜しくお願いいたします。

こんにちは第８病棟

こんにちは。私たちの病棟は循環器科病棟です。位置としては南棟の最上階の８階です。大曲の花火の見学には最高の場所にあります。

当病棟は入院ベット数48床と小規模な病棟です。２名の医師と看護スタッフ25名、看護助手２名、さらに循環器科配属の事務１名、クラーク１名で構成されています。今年度も男子１名配属になり男性看護師が３名となり、大変活気づいているところです。

循環器と言うと、「心臓」なので命と直結しています。一刻を争う緊急性が必要とされ、そのためスタッフはいつでも受け入れられるよう常に緊張の毎日です。主に、心筋梗塞、大動脈の解離、心不全・狭心症など多く、医師２名は常に拘束されております。症状に対する原因を明らかにするために過酷な連日の中で大変リスクの高い心臓カテーテル検査を行い、心臓機能の評価を行っています。また、突然脈が遅くなってしまったり、意識がなくなってしまったりしまうほど心臓の働きがブロックされたりする方には緊急にペースメーカーを入れることなどもあります。ペースメーカーを入れると、心臓の働きが助けられ、規則正しい脈でその方の心臓を支えています。しかしペースメーカーの電池の寿命もあり５年から８年くらいで交換時期を向かえ、交換のための入院の方もいます。その他、緊急の手術を必要とする方は、他の病院へ緊急搬送する場合もあります。入院されているかたの70％以上が高齢の方で、入院、退院を繰り返す方が多いのも病棟の特徴です。そんな中で、患者さんはもちろん、家族の方との信頼関係を大切にしていきたいと考えています。

常にコミュニケーションを心がけ、一人ひとりが「ハート」を大切にしています。

れんけい室タイムズ「Face to Face」Vol 6

1 室長あいさつ

『第８回れんけいのつどい』

佐々木　順　孝

今年も恒例の「れんけいのつどい」が、去る11月８日にグランドパレス川端で開催されました。この会は、病院医師と開業医の連携を深める目的で、平成16年から年１回のペースで行なわれているもので、今年で回を重ね８回目となります。

冒頭の小野地院長からの挨拶では、医師、とりわけ内科系医師の不足から、それぞれの専門でない分野を他の診療科で補っていかなければならず、その点を開業医の先生方にも理解をしていただきたいことに対するお願いがありました。また、４月から始まっているがん診療連携も軌道に乗っており、検査データや画像診断の閲覧システムの導入による円滑な連携の可能性についても言及されました。

特別講演は、「子宮頚がん予防ワクチンについて」で、当院産婦人科山本博毅診療科長から、ワクチンの必要性・種類、接種対象、行政のかかわりなどがわかりやすく説明され、質疑応答では、接種数の少なさから啓蒙の必要性が議論されました。

院長の挨拶でも触れられていましたが、今回は研修医を含む若手医師だけでなく、病棟師長の参加もあり、懇親会では活発な意見交換、懇親がなされた模様でした。

◀講演している山本博毅先生

▲田口医院　田口圭樹先生

▲秋田県医師会　会長 小山田雍先生

▲大曲仙北医師会　会長 山下榮敏先生

2 ５大がん地域連携クリティカルパスについて

当院では、平成２３年５月より、がん地域連携クリティカルパスを用いて２人の主治医（かかりつけ医と当院主治医）の診療を受けている方々がいらっしゃいます。

診療方針や検査結果を２人の主治医が共有したうえで退院後の日常診療をかかりつけ医に行っていただき、専門的な検査等を当院主治医が行うという協力体制を作っています。主治医同士の連絡には、地域連携クリティカルパス『私のカルテ』を用いています。患者様はお薬手帳のように医療機関を受診する際には持参してもらい、安全で質の高い医療を受けていただくことができます。

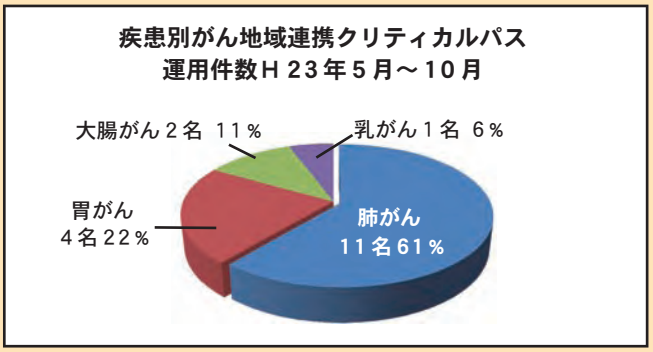
『私のカルテ』の利点

地域連携クリティカルパスを用いることにより、患者様の主治医が複数になります。

☆異常の早期発見や、患者様のそばに立った極め細やかな診療が望めます。

☆医療機関の機能分担が進み、地域医療の効率化が望めます。

～５大がん地域連携クリティカルパス
「私のカルテ」のご案内より一部抜粋～

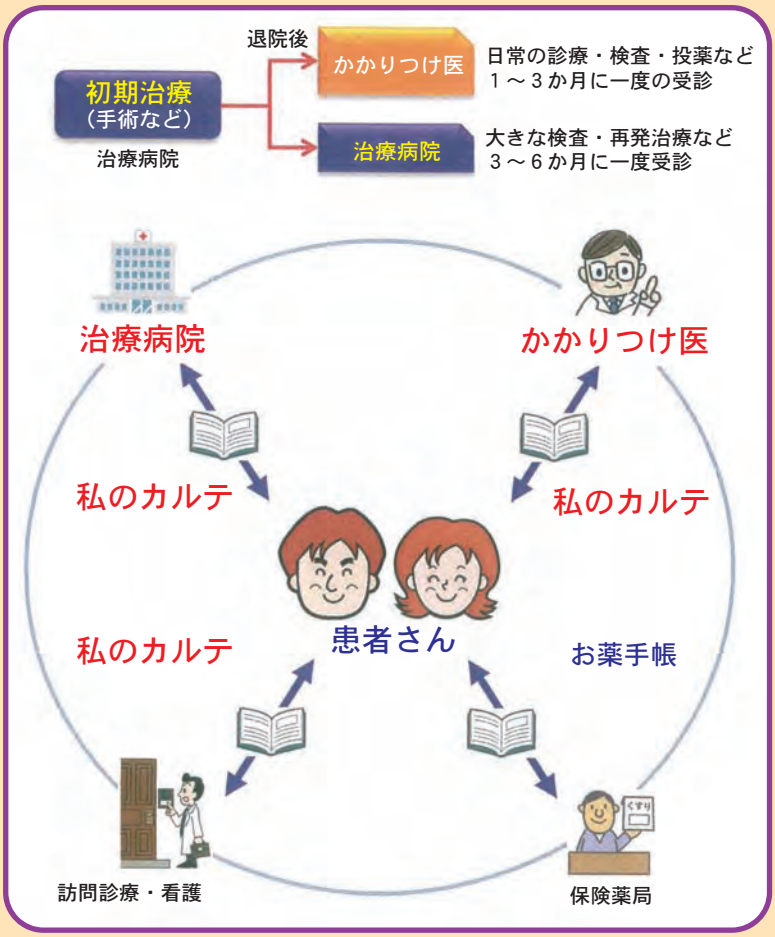


地域医療連携室では、がん地域連携クリティカルパスを用いて診療を開始する患者様、家族にこの仕組み理解していただき、安心して開始できるように直接看護師が面談をして医師のインフォームドコンセントのお手伝いをしています。

いくつかの出会いの中で、印象に残っている患者様のお話があります。

かかりつけ医で胸部写真を撮影し、肺がんが見つかった患者様。

まったく自覚症状がなかったため、半信半疑のまま、当院を紹介されその週に手術になったそうです。その時は無我夢中で何も考える余裕がなかったそうですが、術後経過も良好で早期発見の大切さや、かかりつけ医とのなんでも相談できる関係にとても感謝しているということでした。かかりつけ医との理想的な関係を築いておられるその患者様は、現在がん地域連携クリティカルパスを用いて二人の主治医の診療をうけています。



【地域医療連携室へのお問い合わせ】
ＴＥＬ：**０１８７－６３－２１１１**（内線2104）
ＦＡＸ：**０１８７－６３－０００４**（専用ＦＡＸ）
平　日：**８：３０～１６：３０**

3 平成23年度上半期の紹介患者数・逆紹介患者数の推移

平成23年度上半期の紹介患者数は、3037人。内訳は外来診療74％（2225人）、入院21％（652人）、検査5％（160人）でした。

逆紹介患者数は、2197人。紹介元医療機関への逆紹介は27％（607人）、転院・転医は8％（168人）、当院より他医療機関への逆紹介が65％（1422人）でした。

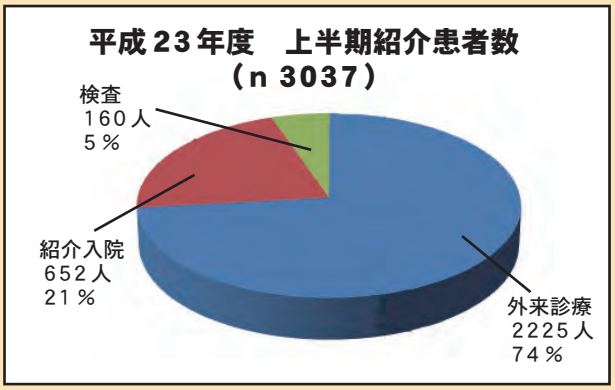
大仙・仙北地域において、地域の医療機関との機能分担を推進していることがうかがえます。

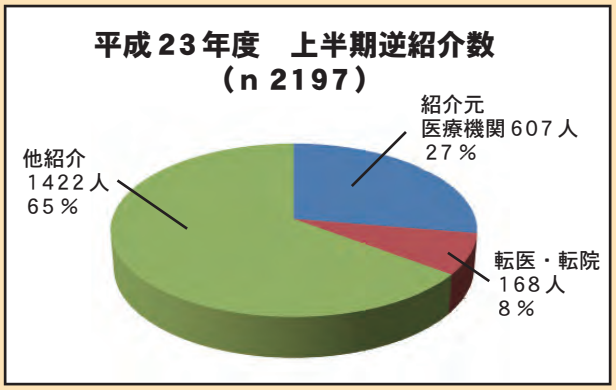
【紹介患者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
外来診療	359	362	431	367	373	333	2225
紹介入院	78	138	90	129	119	98	652
検　査	23	20	26	33	32	26	160
合　計	460	520	547	529	524	457	3037

【逆紹介患者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
紹介元医療機関	83	106	87	103	116	112	607
転医・転院	13	34	26	30	37	28	168
他　紹　介	266	233	247	208	249	219	1422
合　計	362	373	360	341	402	359	2197





4 病院祭に参加して

10月22日（土）に病院祭が行われ、連携室も昨年に引き続き2回目の参加となりました。今回も地域の皆様に『かかりつけ医（ホームドクター）を持ちましょう！』をテーマにアンケートを実施しました。

ほとんどの方がかかりつけ医については知っているのですが、「今は健康なので特にかかりつけ医は持っていない」という方が67人中19人いました。（図参照）

かかりつけ医をお持ちになっている方は、「かかりつけ医である先生を信頼して治療を受けている」等の声を身近で伺うことが出来ました。

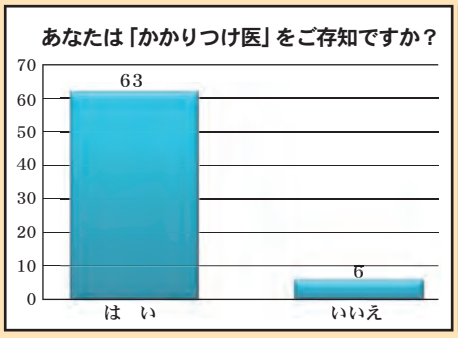
今後も地域の皆様が安心して毎日を過ごされるために、健康管理について何でも相談ができ、専門的な検査、治療が必要な時には適切な病院・診療科を紹介してくれる頼もしいかかりつけ医（ホームドクター）をお持ちになっていただきたいと思います。

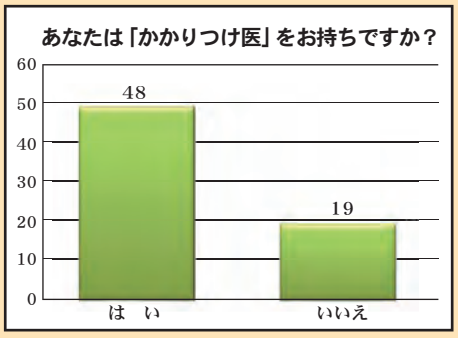
ご存知ですか？

『かかりつけ医』

かかりつけ医（近くの開業医）は家族みんなの健康状態を把握しています。
健康アドバイスや入院・高度な治療が必要になったとき、医療機関（一般病院、大病院）の紹介などしてくれるたのもしいパートナーなのです。
家族が安心して毎日を過ごすためにも「かかりつけ医」を持ちましょう。

▲地域医療連携室コーナー





トピックス

病　院　祭

「地域ふれあい活動の推進」を目的とし、今回で９回目をむかえた病院祭が、平成23年10月22日（土）当院の玄関ホールなどを会場に開催されました。

当日はあいにくの雨天に加えて、大仙市主催の行事や高校の文化祭等がかさなったこともあり、例年より少ない約300名程が訪れました。

病院祭では、オープニングとして大曲太鼓道場による太鼓演奏が披露され、地元の横堀小学校の器楽部や大曲高校合唱部のコンサート、コーラスグループ「ビックウェイブ・ゴスペラ・クワィアー」による唄と踊りが行われ、多くの来院者や入院患者にステージを楽しんで頂くことができました。

その他、ＪＡ秋田おばこ女性部による特産物販売も実施され新鮮な野菜、果物など大勢の買い物客でにぎわいました。また、恒例になっている職員の企画として風船やわたあめ、コーヒーのサービス、看護師による血圧や骨密度測定、職員が持ち寄ったバザーも同時に実施され、職員と地域住民がふれ合うことができた１日となりました。

▲手洗い体験コーナー

▲多くの買い物客で賑わったバザー

▲看護師による血圧測定

▲ＪＡ秋田おばこによる農産物販売

◀大曲高校合唱部の演奏

ドックのご案内

●日帰りドック

検査日：毎週月曜日～金曜日
午前７時４０分～午前１１時頃
（多少時間が前後します。）

料　金：３５，７００円

・下記項目追加の場合

子宮がん検診３，１５０円
乳がん検診　３，１５０円
肺がん検診　６，３００円
} 加算となります。

●一泊二日ドック

検査日：毎週月～火曜日、木～金曜日
午前７時４０分～
翌日午前１１時３０分頃
（多少時間が前後します。）

料　金：６５，１００円（女性の場合、子宮がん検診が含まれます。）

乳がん検診追加の場合３，１５０円加算となります。

ボランティア募集

身体の不自由な方やお年寄りが車を乗り降りする際の手助けや、車椅子や受付の補助をしてくださるボランティアの方を募集しております。
週１日からで結構ですので、是非お願いします。

お問い合せは総務課へ。電話またはＥメールで。

ためになる話

足のおはなし

足部（靴に覆われている部分）の手入れが転倒予防にもつながるといわれています。

足部は手に比べると、指は短く柔軟な動きをすることが難しいです。しかし、足部の皮膚（足の裏）は手と同じくらい感覚刺激を受容するセンサーが多く、数多くの骨と複雑に走行する筋や腱・靭帯が足部のアーチを形成しています。足部は直接地面と接触してそこからの情報を受け取り、自分自身の体の位置を定める繊細な感覚器官であり、また地面に足を着いたとき体を支えるためのクッション作用などの荷重機能でもあるのです。

高齢になると足部の皮膚は乾燥して薄く、一方で長年の物理的圧迫で硬い部分もあります。硬い皮膚と薄い皮膚があると皮膚のずれから皮膚が割れやすくなります。また、偏平足（アーチの崩れ）や外反母趾・内反小趾といった関節の変形もみられます。更に足の指が地面に接触しなくなったり、足の指を広げることも難しくなります。爪も変形し巻き爪や水虫になることがあります。このような中で靴下や靴を履き歩いているのです。

そのため皮膚は清潔・保湿を保つことが大事です。皮膚のずれを起こさないようにやさしく行います。足の爪や指も同じですが、治療することも必要です。靴選びも重要です。足の変形や歩き方をみて足に適したものを選んで下さい。

「年だから」ではなく「年だからこそ」手入れが必要です。『柔らかく、大きく、広がる足』をイメージして手入れをしてほしいと思います。

診療案内　外来診察医一覧

《祝祭日と土曜日は全科休診です》

平成23年12月1日現在

診療科	月	火	水	木	金	備考
内科1診	－	－	－	－	－	
内科2診	山口昭彦	佐々木重喜	斎藤宏文	山口昭彦	渡部　敦	
内科3診	仁村　隆	茂木睦仁	仁村　隆	茂木睦仁	仁村　隆	
内科4診（専門外来）	－	糖尿病外来 森井　宰	－	腎臓病外来 小松田　敦	糖尿病外来 安藤清香	
循環器科1	加藤結花	荒川　博	木曾博典	加藤結花	荒川　博	
循環器科2	木曾博典	加藤結花	秋田大学	佐々木一哉	秋田大学	
循環器科3	－	呼吸器内科（秋田大学）	心臓血管外科 第1・第3・第5	－	呼吸器内科（秋田大学）	火 12:30から 金 11:30まで
消化器科1診	五十嵐　潔	高平尚弘	五十嵐　潔	高平尚弘	五十嵐　潔	
消化器科2診	伊藤博彰	伊藤博彰	伊藤博彰	沖口将夫	沖口将夫 10:30～中島　康	
神経内科	－	－	－	－	菅原正伯 13:00～	予約制12:00～16:00
小児科1診	五十嵐希世志	深谷博志	五十嵐希世志	矢野珠巨	五十嵐希世志	
小児科2診	大村映子	小山勝幸	小山勝幸 ☆心臓外来（秋田大学）	大村映子	大村映子	☆第1・3水曜日 13:30～
外科	小野文徳	大村範幸	平賀雅樹	山村明寛	佐藤　学	
呼吸器外科1診	中川　拓	－	中川　拓	－	中川　拓	月 10:30まで 水・金 11:00まで
呼吸器外科2診	工藤智司	－	工藤智司	－	工藤智司	※2診は病棟業務終了次第診療
泌尿器科1診	熊澤光明	熊澤光明	神崎正俊	熊澤光明	熊澤光明	月・金 11:00まで 火・水・木10:30まで
泌尿器科2診	神崎正俊	千葉修治	千葉修治	神崎正俊	千葉修治	
産婦人科（婦科）	山本博毅	小西祥朝	小西祥朝	山本博毅	小西祥朝	
産婦人科（産科）	小西祥朝	木藤正彦	山本博毅	木藤正彦	山本博毅	
耳鼻咽喉科1診	垂石羊司	垂石羊司	高橋雅史	垂石羊司	高橋雅史	
耳鼻咽喉科2診	横溝道範（第2・4） 高橋雅史（第1・3・5）	横溝道範	横溝道範	高橋雅史	横溝道範	
整形外科1診	梅原寿太郎	佐藤心一	梅原寿太郎	菅原長弘	梅原寿太郎	
整形外科2診	後藤伸一	那波康隆	後藤伸一	後藤伸一	佐藤心一	8:30～11:00
整形外科3診	菅原長弘～那波康隆	菅原長弘	佐藤心一	那波康隆	菅原長弘～那波康隆	火・木 10:15まで
皮膚科	－	秋田大学	秋田大学	－	秋田大学	火・水・金11:00まで
	新患の患者様は、他医院又は院内内科より紹介された方。再来の患者様は、完全予約制とさせて頂きます。					
脳神経外科	佐々木順孝	田村晋也	佐々木順孝	大前智也	佐々木順孝	
麻酔科	菅沼紘平	大高公成	－	－	横山成典	
放射線科	黒川博之	黒川博之	黒川博之	黒川博之	黒川博之	
歯科	鈴木靖子	鈴木靖子	鈴木靖子	鈴木靖子	鈴木靖子	8:30～11:30予約制 新患受付11:00まで
	和田　務	和田　務	和田　務	和田　務	和田　務	

※医師の異動等により変更となることがあります。